

リリースノート

パッケージ一覧：フルパッケージ

リリース日：2010年8月25日

製品：DocAve® 5.5.3

バグ修正

- **DocAve を使用したリストア又は移行後のすべてのエンドユーザー Web パーツ復元性の強化**

アーカイブブラウザ Web パーツはリストアジョブ後に再インストールする必要がなくなりました。

サイトまたはサイトコレクションがアーカイブされ、管理者がデータ保護モジュールを使用しそれらをリストアする際、アーカイブブラウザの再インストールは不要となりました。アーカイブブラウザは現在管理者のサポートなしに通常表示されます。アーカイブ済みのサイト コレクション上に表示されるアーカイブ ブラウザ Web パーツは、サイトおよびサイト コレクションをデータ保護モジュールでリストアした後も、アーカイブ ブラウザの再インストールなどの管理者操作なしに問題なく表示されるようになりました。

エンドユーザー リストア Web パーツは、バージョンアップ後の再構築が必要なくなりました。

これまでは、管理者は DocAve をバージョンアップする前にエンドユーザー リストア Web パーツをアンインストールし、この Web パーツを再構成する必要がありましたが、バージョンアップの際も再構築の必要がなくなりました。

レポートセンター Web パーツは現在、すべての SharePoint 2010 のレポートデータを含みます。

レポートセンター Web パーツは SharePoint2010 より追加されたサイトの利用状況、最終アクセス時刻、チェックアウトされたドキュメント、検索使用量、そして プロブ集計など、すべてのデータセットを表示できるようになりました

- **バイナリストア、複数のバージョンを含むリスト・ライブラリの最小単位リストアの復元性を改善**

以前より、リスト又はライブラリのアイテムに複数のバージョンが含まれているサイトコレクションに対してバイナリストアの設定を行った場合、そのリストまたはライブラリは SQL バックアップ分析又はアイテムのバージョンを選択することによりバックアップされ、そのバックアップから単一バージョンの単一アイテムをリストアすることはできませんでした。この問題は DocAve5.5.3 で対処され、多くのバージョンを伴うコンテンツのバージョンもリストアすることが可能になりました。

- **バイナリストアクラウドストレージへの接続安定性と性能向上**

特定のシナリオにおいて、バイナリストアは一度に一つのサイトコレクションしか構成することができませんでした。現在、存在するコンテンツのオフロード、メディアサービス暗号化、エージェント圧縮の選択にかかわらず、管理者は一つのバッチジョブで複数のサイトコレクションをクラウドストレージに対して展開することができます。以前より管理者がアーカイブおよび展開したコンテンツがストレージ階層の低いドキュメントのバージョンにアクセスする際、問題が発生する可能性が指摘されていました。：これらの問題は DocAve5.5.3 にて対処されました。

- **特定のバックアップ構成にてリストアジョブ複合ができない問題を修正**

完全バックアップ、増分バックアップを実行後にバックアップ対象の場所にアイテムが追加されると、増分バックアップ部分から対象のアイテムをリストアすることができない、という問題が指摘されていましたが、DocAve 5.5.3 ではこの問題が修正されました。

- **異なる複数のコンテンツデータベースを対象とした SharePoint 監査プランビルダーのエラー修正**

監査データ取得スケジュールが Web アプリケーションレベルにて構成され、その Web アプリケーションに含まれるサイトコレクションが複数のコンテンツデータベースにまたがる場合、そのサイトコレクションの内一つのみが取得されていました。同様に、以前削除されたサイトコレクションが 1 つのコンテンツデータベースに属していた場合、管理者は異なるデータベースにリストアされたサイトコレクションの監査データを正常に収集することはできませんでした。これらの問題は DocAve5.5.3 にて解決しました。

既知の問題

- **コンテンツマネージャーにおいて SharePoint Designer 2010 を使用し編集されたコンテンツ、又は競合しているコンテンツを移動することができない**

1 つのフォルダを異なる名前の別のフォルダへ「上書きしない」オプションを選択した状態でコンテンツマネージャーで移動する際、フォルダ ID が競合していると、移行先フォルダのコンテンツが上書きされます。コンテンツマネージャーを使用し、コンテンツを移動するし既存コンテンツを上書きしないようにするためには移行元と移行先のフォルダ名は同じである必要があります。それに加え、コンテンツマネージャーを使用し SharePoint 2010 のサイトコレクションを移動する場合、SharePoint Designer 2010 によって作成・修正されたカスタムリストビューは現在コンテンツと共に移動することができません。

- **レプリケーションプラン作成する時、「今後は表示しない」オプションはすべてのポップアップに影響します**

レプリケータープランを作成し、現在のページから管理者権限ページを外れるハイパーリンクを選択する際、「保存されていない設定はすべて削除される」というポップアップ警告が表示され、「今後は表示しない」が同時に表示されます。このオプションが選択されると、レプリケータープラン構成時に表示されるポップアップすべてがブロックされます。よって、このオプションを選択しないことを強く推奨しています。

- **存在するコンテンツとライブラリをオフロードジョブのスケジュールへの時間表示設定による影響**

バイナリストアを利用する際、時間タイプが「HH:mm:ss」や「d.M.yy.」に設定されていないことを確認してください。これらの値がコントロールパネルのシステム設定から選択されており、ライブラリの存在するコンテンツを展開する場合、ライブラリを展開するスケジュールを作成する際エラーメッセージが表示されます。

- **共有検索アプリケーションの Index 先編集不可**

プラットフォーム バックアップをスケジュールする場合、共有検索アプリケーションの Index 先を編集しているとジョブが完了しません。